



# アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい◎ ボタンを押し、アラームモードにします。

**確認**→ALマークの点灯  
アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子ブザーで知らせます。  
※電子ブザーは①・②・③いずれかのボタンを押すと止まります。  
また、毎正時(00分のとき)を電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。



## ■ セットのしかた

1. アラームモードで① ボタンを押すとアラームマーク“”が点灯し、「時」が点滅します。



2. ② ボタンを押すと「時」が1つずつ進みますのでセットしたい「時」にします。



3. 「時」のセット後、③ ボタンを押すと「分」が点滅します。「時」のセットと同様に④ ボタンを押すと「分」が1つずつ進みますのでセットしたい「分」にします。



4. 「分」のセット後⑤ ボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。

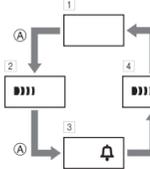


## ■ アラーム・時報のON/OFF

アラームモードのとき⑥ ボタンを押すごとにアラームマーク“”、時報マーク“”が下図の順で点灯、不点灯を繰り返します。  
アラームマーク、時報マークが点灯しているときに、「ON」の状態です。

- ① アラーム、時報マークとも消えているとき →アラーム、時報ともOFF
- ② アラームマークのみ点灯しているとき →アラームのみON
- ③ 時報マークのみ点灯しているとき →時報のみON
- ④ アラーム、時報マークとも点灯しているとき →アラーム、時報ともON

●モニターアラーム(ブザー音が確認できます。)アラームモードのとき⑦ ボタンを押し続けると(押し続けている間)電子ブザーが鳴ります。



# 秒の合わせ方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい◎ ボタンを押し、時刻セットモードにします。

## ■ セットのしかた…30秒以内の遅れ進みの修正

1. 時刻セットモードのとき、時報にあわせて⑧ ボタンを押すと秒が「00」になります。

秒表示が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは分表示が1分繰り上がり「00」秒からスタートします。

※時報は時報サービス電話117番が便利です。

2. セット後、⑨ ボタンを押すと(秒の点滅が止まり)、時刻・カレンダーモードに戻り、秒合わせは終わりです。



# 時刻・カレンダーの合わせ方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい◎ ボタンを押し、時刻セットモードにします。

## 確認

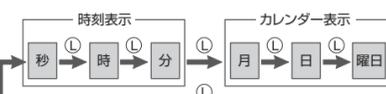
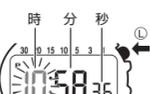
### 時刻セットモード

## ■ セットのしかた

1. 時刻セットモードに切り替えると、「秒」が点滅します。



2. ① ボタンを押すごとに点滅箇所が下図の順で移動します。



3. ① ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、② ボタンを押して時刻・カレンダーを合わせます。



→② ボタンを押すごとに点滅が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

4. セット後、③ ボタンを押すと(セット箇所の点滅が止まり)、時刻・カレンダーモードに戻り、セット完了です。

※カレンダーは大の月・小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日、あるいは電池交換のとき以外は修正不要です。

●自動復帰機能  
アラームモード、時刻セットモードで、セット操作後1~2分何も操作しないと、自動的に時刻表示に切り替わります。

### 時刻セット例

〈「午前10時50分」を「午後2時5分」に合わせるとき〉

1. 時刻セットモードで① ボタンを押して「時」を点滅させます。



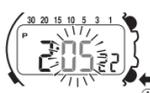
2. ② ボタンを押して「時」を「10」から「2」にします。午後(P)マークに注意してください。



3. 「時」のセット後、① ボタンを押すと「分」に点滅箇所が移動します。



4. ② ボタンを押して「分」を「50」から「5」にします。



→② ボタンを押すと「分」は「59」まで進み、以後「00」に戻って繰り返し進みます。

5. 「分」をセット後、③ ボタンを押すと(セット箇所の点滅が止まり)、時刻・カレンダーモードに戻り、セット完了です。



※「分」のセット後、④ ボタンを押さずに① ボタンを押すと「月」が点滅し、時刻のセットに続けてカレンダーのセットができます。

# 製品仕様

水晶発振周波数: 32,768 Hz  
常温携帯精度: 平均月差±30秒以内  
表示方式: FE型液晶デジタル表示  
基本機能: 時刻表示=時・分・秒・午前/午後

アラーム機能: カレンダー表示=月・日・曜日・オートカレンダー(2月28日制)  
時刻アラーム セット単位=分 電子ブザー=20秒間  
時報 毎正時に2回電子ブザーで報知

タイマー機能: 計測単位=1, 3, 5, 10, 15, 20, 30分  
セット単位=分 電子ブザー=10秒間  
計測範囲=30分 計測機能=通常計測

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/10秒 計測範囲=59分59秒(60分計)  
計測機能=通常計測、積算計測

セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒クリア)、アラームセット機能、タイマーセット機能

その他: 自動復帰機能、モニターアラーム  
主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS・LSI  
電池寿命: 約2年(1日あたり電子ブザーを20秒間使用した場合)

# ご使用上の注意

## ■防水性

●防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	日常生活用防水 [BAR]表記無し	日常生活用強化防水		
		5気圧防水 5BAR	10気圧防水 10BAR	20気圧防水 20BAR
使用例				
洗車、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	○	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を流す場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうすやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側に曇ることがありますが、すぐに曇りがなくなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

## ■バンド

- バンドをきつくと、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換(有償)をお申し付けください。

## ■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

## ■ショック

- 通常の使用状態でショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因となります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-ms)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

## ■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

## ■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

## ■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油剤またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

## ■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

## ■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当たったり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外気、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。有償にて申し受けます。

## ■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。ご注意ください。天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

## ■金属製品について

- 金属を使用した製品(バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になります。さび(錆)が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸水性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れしてください。このとき、時計の本体にからまないようご注意ください。

## ■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸水性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

## ■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# お手入れについて

## ■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくこと及び暑くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸水性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

## ■お手入れを怠ると

- 〈さび(錆)〉  
時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - ・汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出ると、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。
- 〈劣化〉  
樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。
- 〈かぶれ〉  
皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

# 電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます(防水検査は別途有償となります)。

## ■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

## ■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見えにくかったり」「消費たり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

# 金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の变形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノお客様修理相談センターへお問い合わせください。